

令和4事業年度

# 決算報告書

自：令和4年4月 1日

至：令和5年3月31日

国立大学法人北海道大学

# 令和4年度 決算報告書

国立大学法人北海道大学

(単位：百万円)

区 分	予算額	決算額	差 額 (決算－予算)	備考
収入				
運営費交付金	36,217	36,944	726	(注1)
うち補正予算による追加	-	-	-	
施設整備費補助金	2,430	1,848	△582	(注2)
船舶建造費補助金	1,000	998	△2	(注3)
補助金等収入	3,795	5,665	1,870	(注4)
大学改革支援・学位授与機構施設費交付金	72	72	-	
自己収入	43,624	45,811	2,187	
授業料、入学金及び検定料収入	9,425	9,253	△171	(注5)
附属病院収入	32,511	34,420	1,908	(注6)
財産処分収入	-	5	5	(注7)
雑収入	1,687	2,132	444	(注8)
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	15,882	19,413	3,530	(注9)
引当金取崩	-	617	617	(注10)
目的積立金取崩	-	-	-	
前中期目標期間繰越積立金取崩	-	2,491	2,491	(注11)
計	103,023	113,862	10,839	
支出				
業務費	80,088	82,660	2,572	(注12)
教育研究経費	47,883	49,792	1,909	
診療経費	32,205	32,868	663	
施設整備費	2,502	1,920	△582	(注13)
船舶建造費	1,000	998	△2	(注14)
補助金等	3,533	5,139	1,606	(注15)
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	15,882	16,468	585	(注16)
長期借入金償還金	15	15	△0	
計	103,023	107,203	4,180	
収 入 ー 支 出	-	6,659	6,659	

※本報告書は百万円未満切り捨てにより作成しております。

○予算と決算の差異について

- (注1) 運営費交付金については、予算段階では計上していなかった追加交付があったため、予算額に比して決算額が726百万円多額となっております。
- (注2) 施設整備費補助金については、一部事業が翌年度に繰越となったため、予算額に比して決算額が582百万円少額となっております。
- (注3) 船舶建造費補助金については、不用額が生じたため、予算額に比して決算額が2百万円少額となっております。
- (注4) 補助金等収入については、予算段階では予定していなかった補助金の獲得に努めたため、比して決算額が1,870百万円多額となっております。なお、本収入には、授業料等減免費交付金が284百万円含まれており、本補助金は授業料等免除に使用しております。
- (注5) 授業料、入学金及び検定料収入については、主に授業料収入が減少したため、予算額に比して決算額が171百万円少額となっております。
- (注6) 附属病院収入については、診療単価の上昇等により、予算額に比して決算額が1,908百万円多額となっております。
- (注7) 財産処分収入については、練習船の売払いにより、予算額に比して決算額が5百万円多額となっております。
- (注8) 雑収入については、学校財産貸付料等の増収に努めたため、予算額に比して決算額が444百万円多額となっております。
- (注9) 産学連携等研究収入及び寄附金収入等については、予算段階では予定していなかった国（の各組織、特殊法人）及び民間からの受託研究等の獲得に努めたため、予算額に比して決算額が3,530百万円多額となっております。
- (注10) 引当金取崩については、引当金による退職手当及び賞与の支払いに伴い、経費相当分を取り崩したことにより、予算額に比して決算額が617百万円多額となっております。
- (注11) 前中期目標期間繰越積立金取崩については、事業の進捗に伴い取崩を行ったため、予算額に比して決算額が2,491百万円多額となっております。
- (注12) (注11) に示した理由や光熱費高騰により、予算額に比して決算額が2,572百万円多額となっております。
- (注13) (注2) に示した理由により、予算額に比して決算額が582百万円少額となっております。
- (注14) (注3) に示した理由により、予算額に比して決算額が2百万円少額となっております。
- (注15) (注4) に示した理由により、予算額に比して決算額が1,606百万円多額となっております。
- (注16) (注9) に示した理由により、予算額に比して決算額が585百万円多額となっております。